

STEP
1

厚紙を貝の形にカットしよう

厚紙を貝の形にカットします。
コースターなどでもGOOD。ボール紙でもOK。

STEP
2

対になる絵を描こう

厚紙に対になる絵を描きます。
絵柄は動物や食べものなど何でも!
おりがみを使うとカラフルでかわいいかも!

STEP
3

遊ぼう!

片方の貝をすべて裏にして円状にならべ、もう片方の貝を1枚中央に置いて、対の貝がどれか当てる。
というのが正しい遊び方ですが、全部ごちゃまぜにしてトランプの神経衰弱のように遊んでもOK!

STEP
4

はまぐりでも作っちゃおう!

蛤貝を食べたら貝がらをきれいに洗って乾かします。アクリル絵の具で地の色を塗ります。
工作用のスプレーでも簡単。何度か重ね塗りをするときれいに仕上がります。
地の絵の具が乾いたら花などの絵を描きます。シールを貼ってもOKです!
ネイルポリッシュなども活用できますよ。

〈やってみませんか〉



ポイント!

対の絵はまったく同じもよし。
ちょこっと変えて、片方がバナナの絵、
もう片方はバナナの皮の絵、
などにしてもおもしろいかも!?



蛤貝は対になる貝を違えないところから、夫婦和合の象徴とされました。合わせ貝は、360個もの蛤貝が一セットで、地貝（じがい）と出貝（だしがい）に分け、それぞれ別の貝桶に収めて保存されます。大名の姫君の婚礼調度の中で、合わせ貝とそれを収めた貝桶は、最も重要な意味を持ち、婚礼行列の際には先頭で運ばれたそうです。婚礼行列が婚家に到着すると、まず初めに貝桶を新婦側から婚家側に引き渡す「貝桶渡し」の儀式が行われたといわれています。

江戸時代に遊ばれた「合わせ貝」には大形の蛤貝が用いられ、金箔や蒔絵で美しく装飾されていました。これらを伏せて並べ、多くの中から、もとの一对を探す遊びが「貝合わせ」です。もともとは貝の美しさを競うもので、古くは平安時代の貴族の女の子の遊びとしてはじまったそう。



合わせ貝

雛道具



春を迎えて心躍るひなまつり。手作り貝あわせで彩りを添えてみてはいかがでしょうか。